

今日は、修了式でした。

江戸小の桜の花も満開になっている中、子供たちは一年間の学業を終了することができました。TV 放送で修了式を行いました。修了式の中で、私から以下のことを話しました。

おはようございます。

今日は、修了式ですね。一年間の学業をがんばり、修了したことを校長先生が認める式です。みなさん、本当によくがんばりましたね。

今日は、残念なことにいつも頼りにしていた6年生がいません。6年生は卒業式を行い、この学校を卒業していきました。みんな笑顔で本当に素晴らしいあの子たちらしい卒業式でした。卒業していった6年生は一年ごとにどんどん成長していった学年でした。その成長ぶりは、目を見張るものでした。きっと中学校に行っても、自分の夢に向かって成長し続けることと思います。さて、みなさんはどうでしたか。校長先生は、みなさんも成長してくれたと思っています。もしかしたら「自分はそんなことないなあ」と思う人もいると思います。でも安心してください。一日一日では、成長がわからなくても、一年という長い時間をかけてみるとどの子どもとっても成長していますよ。大切なのは、2つです。あきらめず、こつこつと努力し続けることと、成長できる自分を信じることです。

おとといの WBC では、大谷選手らが活躍して見事日本が世界一になりました。とってもうれしいことですが、これもたまたま勝ったということではありません。選手の人たち一人一人が自分を信じ、仲間を信じ、目標である世界一を目指してこつこつ努力してきたからこそできたことと思います。もちろん、この江戸小のみんなが世界一になれることは難しいことかもしれません。しかし、自分の夢を追い続けてそれをかなえることができるとしたら、それはその人にとっての世界一だと思います。

だから、これからも一日一日を大切に努力してください。自分を信じてください。校長先生はこれからも江戸小のみんなを応援しています。

これで、校長先生のお話を終わります。

この後、生徒指導主任から話をし、最後にこの学校を去られる先生方の紹介をしました。

一人一人の職員の名前を読み上げると、子供たちの教室から悲鳴にも似た声が聞こえました。別れを惜しむ子供たちの気持ちが伝わってきました。

この一年間、学校教育活動を進めることができたのは、ひとえに保護者の方・地域の方の御協力があってこそだと思っています。本当にありがとうございました。

これからも、江戸小の子供達の健やかな成長を学校とともに促していけたら、と思っています。来年度もよろしく願いいたします。